

写真はいずれも「PMS(平和医療団・日本)提供」

長編ドキュメンタリー

荒野に希望の灯をともす

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～



[朗読] 石橋蓮司
[語り] 中里雅子
[取材] 柿木喜久男
大月啓介
アミン・ウラー
・ベーク
[C G] 平野雄一
[音効] 渡辺真衣
大島亮
[演奏] 中村幸
[編集] 櫻木まゆみ
[撮影・監督]
谷津賢二
[構成・制作]
上田未生
[助成] 文化庁
[企画]
ペシャワール会
[製作]
㈱日本電波ニュース社

荒野に希望の灯をともし

～医師・中村哲 現地活動35年の軌跡～



アフガニスタンとパキスタンで35年にわたり、病や戦乱、そして干ばつに苦しむ人々に寄り添いながら命を救い、生きる手助けをしてきた医師・中村哲。NGO 平和医療団日本 (PMS) を率いて、医療支援と用水路の建設を行ってきた。活動において特筆すべきことは、その長さだけでなく、支援の姿勢がまったくぶれることなく、一貫していたことだ。一連の活動は世界から高く評価され、中村医師は人々から信頼され、愛されてきた。

今、アフガニスタンに建設した用水路群の水が、かつての干ばつの大地を恵み豊かな緑野に変え、65万人の命を支えている。

しかし、2019年12月。用水路建設現場に向かう途中、中村医師は何者かの凶弾に倒れた。その突然の死は多くの人々に深い悲しみをもたらした。だが、一方で私たちに強く問いかけもする。中村医師が命を賭して遺した物は何なのか、その視線の先に目指していたものは何なのか。

中村哲が遺した文章と1000時間におよぶ記録映像をもとに、現地活動の実践と思索をひも解く。



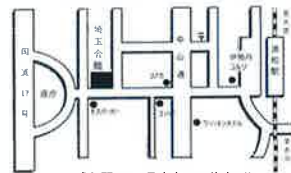
写真はいずれも「PMS(平和医療団・日本)提供」

映画「荒野に希望の灯をともし～医師・中村哲 現地活動 35 年の軌跡～」上映会

2022年 **5月25日|水** ①10:30-12:30 ②14:00-16:00 ③18:30-20:05
埼玉会館小ホール 各回30分前開場 先着入場 全席自由

参加費 当日券・当日精算券持参 **1,000円** (小中高校生 800円)

①②の回は、石橋忠明さん(バジャワール会 現地ワーカーOB)のお話がございます。



浦和駅西口 県庁方面へ徒歩6分

主催・配給／お問合せ・電話割引受付 ▶埼玉映画文化協会 TEL048-822-7428 FAX048-824-3263